

## 第4学年 特別活動（学級活動）学習指導案

盛岡市立仁王小学校

指導者 矢澤 慎

題材名 学校の水を大切にしよう

題材について

本題材は、社会科の「くらしと水」の学習を経て設定されたものである。子どもたちは、社会科の学習を通して、水を安心して飲むことができるのは、様々な人々が努力しているためであることを学習してきた。子どもたちは、蛇口をひねれば出てくる水について感謝の気持ちを抱いており、大切にしなければならないと感じている。しかし、学校内の生活を見回してみると、水道の蛇口を閉め忘れていたり、トイレの水を出しっ放しにしたりするなど、水を大切にしていない実態が見られた。そこで、自分たちの実態を改善する必要性に気付き、学級ポストに水を大切にするための話し合いをしたいという提案が出された。計画委員と学級会の提案について話し合いを行ったところ、学級内の水を大切にしていない例が出され、水を大切にすることを進める必要があるのではないかとということになった。また、この提案は、自分だけではなく学級、学校全体の生活に関わることであり、みんなで協力していくことにより解決されていくと判断されたことから、学校の「水を大切にしよう」を議題として設定した。

本題材は、特別活動の活動内容（1）における子どもたちの自発的、自治的活動をより一層高めるために設定した。

子どもたちは、社会科の学習を通して、水を大切に使うことの必要性を感じており、自分たちの力で何か役に立つことはできないかと考えている。しかし、子どもたちは、働くことの気持ちよさについて目が向いているが、自分の行為を褒めてもらうことにのみ喜びを見出している場合も見られる。そこで、働くことによって周りの人の役に立つということについて気付かせ、成就感や満足感を味わうだけでなく、周りの友だちや社会のためにも役立っていることに気付かせ、進んでみんなのために働こうとする気持ちを育てたいと考えた。

また、学級の取り組みとして、他の子どもたちと協力して実践活動に取り組みさせることにより、学級集団のまとまりを深め、より望ましい集団に発展させていくことが期待できる。さらに自分たちで、学校全体のための活動を考え実践することは、今後高学年に進級し学校の中心として児童会活動や委員会活動を行っていく子どもたちにとって、学校全体を把握し、学校生活をよりよくしていくための自主的、実践的な態度を育てるのに大変意義のあるものだと考える。

水は、人間が生きていくために大切な資源である。人間が豊かな生活をするために自分たちの環境を整えてきたことを理解し、これから生きていくために大切な資源を守っていかうとする態度を身に付けるということは、子どもたちにこれからの社会を担う資質を養うことになると考える。そして、4年生の子どもたちにとって生活を充実、向上させるための自発的、自治的活動を行うことは、実践する意欲や態度、話し合いの仕方などを育てることにつながると思う。

以上のようなことから本題材を設定した。

指導にあたっては、社会科の学習で高められた「水を大切にしたい」という子どもたちの願いにもとづく自主的、自発的な活動が展開されるようにしたい。そこで、議題が誰のどんな願いによるものなのかを捉えることができるように議題カードを掲示したり、社会科の学習と関連して水を大切にしている姿について日頃から教師や子どもたち同士で取り上げたりしていきたい。

本時の話し合い活動においては、子どもたち一人一人に明確な目的意識をもたせるために、提案理由の説明は、子どもたちから仁王小学校の水の使用量や用務員の先生方にインタビューしたことなどを基に行う。また、提案理由の説明の後に水の節約の仕方や、水道料金などについてビデオを使って補足説明を行う。話し合いでは、話し合いの焦点化を図ったり、子どもの考えを掘り起こしたりするとともに、子どもの考えのよさを認め合うことができるように個の学びに沿った助言を行う。また、話し合いプリントに自分の考えを事前に持ち寄せ、一人一人が話し合いに参加できるように支援を行う。先生からでは、話し合いのよさを捉えさせ、よりよい意思決定を行い、実践への意欲をより一層高めることができるようにするために、学びの価値にかかわった資料を提示する。話し合いの振り返りの場面では、自己の高まりや友だちのよさを捉えることができるように視点を与えて振り返りを行う。

実践の場面では、子どもたちが進んでできるように支援をするとともに、お互いに高め合うことができるように活動の様子について掲示を行う。また、他の学年の子どもたちが水を大切に使用していたことなどを紹介し、自分たちの活動が、学校の水を大切にすることにつながったことを捉えさせていきたい。

本題材についてかかわる活動の経過

月・日	時間	参加児童	主な活動内容	教師の支援
6 / 1	放課後	計画委員	6月の学級活動の計画 ・学級ポストを開け議題の整理をし、議題を選ぶ。	学級のみなが楽しくなることであるか、学級や学校全体が高まることであるかという観点で議題を選定させる。
6 / 3	帰りの会	全員	議題の決定 ・「学校の水を大切にしよう」	学校の水を大切にすることが提案されたわけについて補足する。
6 / 6	放課後	計画委員	話し合いの柱の原案の決定 ・水を大切にするには、どんな取り組みを行えばよいか。	全員で話し合う必要のあるものについて気づかせる。
6 / 7	帰りの会	全員	話し合いの柱の決定	
6 / 10 ~	給食時間	提案者	提案理由に必要なことについて話し合い、準備を始める。	相手に自分たちの願いが伝わるように支援を行う。
6 / 13	道徳	全員	みんなが気持ちよくすごすことについて学習する。	人に迷惑をかけず、社会の決まりや公德を大切にしようとする心情を育てる。
6 / 15	帰りの会	全員	話し合う内容についての確認	話し合いカードに自分の考えを記入させる。
6 / 16	放課後	進行係	係の打ち合わせをする。	
6 / 17	学級活動 本時	全員	学校の水を大切にするには、どうすればよいか話し合う。(水を大切にするには、どんな取り組みを行えばよいだろうか。)	自分たちで決定することができるようにすると共に、水を節約することが学校や自分たちの生活のためになることを捉えることができるようにする。
6 / 20 ~	放課後	全員	取り組みの準備を行う。	
6 / 22	放課後	全員	1週間を目安に取り組みを行う。	同学年や他学年の様子について捉えさせ、自分たちの取り組みの達成感を感じることができるようにする。
7 / 1	放課後	全員	水を大切にすることを通しての感想を振り返る。	今回の題材を通して、自分ががんばったことや他の人たちのがんばりについて記述させる。

評価について( は本時に関わる評価)

指導項目	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
計画, 進行	計画委員として教師の助言を受け、自分の役割に責任を感じながら積極的に計画立案や話し合いの進行をしようとすることができる。 【事前の活動, 話し合い: 観察】	話し合いのめあてや柱、話し合う順序、時間、話し合いの混乱を想定した対応などの気をつけることについて考えたり、判断したりすることができる。 【話し合い: 観察】 評価	提案理由や議題をよく理解して、活動計画を立てることができる。 【事前の活動: 観察】	話し合いの進め方について理解し、話し合いのめあてと時間を考えながら話し合いを進めることができる。 【事前の活動, 話し合い: 観察】
話し合い活動	水を大切にすることを通して自分の考えを持って話し合いに参加することができる。 【事前の活動, 話し合い: 発言, 観察】	自分の意見をめあてや提案理由に沿って考えたり、代案や折衷案などの意見を考えたりすることができる。 【話し合い, 振り返り: 観察, 記述】 評価	賛成、反対、補足等の違いを理解して、自分の考えを発言することができる。 【事前の活動, 話し合い: 発言, 観察】	指名を受けて意見を言うことや決定の仕方など、話し合いの基本的な約束を理解して話し合うことができる。 【事前の活動, 振り返り: 観察, 記述】
実践	決まったことを進んで実践しようとするすることができる。 【実践: 観察】	水を大切にすることを考えて取り組みを考えることができる。 【実践: 観察】	自分の役割を理解し、協力して進めることができる。 【実践: 観察】	学級や学校をよりよくしようという意識を持って実践を考え、準備することができる。 【実践: 観察】

## 題材と子ども

これまで子どもたちは、水に対してそれほど関心をもっておらず、蛇口をひねればあたりまえに出てくるものであると考えてきた。しかし、社会科の学習を通して子どもたちは、毎日安全に水を飲むことができるのは、ダムや浄水場の人たちの努力によるものであることを捉え、自分たちが飲んだり使ったりしている水に対して感謝の気持ちや大切にしていかなければならないという気持ちをもつことができた。ところが、自分たちの生活をよく見てみると、水道の蛇口を閉めるのを忘れて、トイレの水を出しっぱなしにしたりと自分たちの注意不足のために水を無駄にしていることが少なくない。自分たちの生活の実態に気づき、自分たちの生活をよりよいものにした、自分たちの生活を支えている人たちの願いに応えたいという思いから、学級会で学校の水を大切にしようという活動に発展した。

本時の話し合いの目的は、学校の水を大切にするには、どんな取り組みを行えばよいか決めることである。水を大切にするためには、どんな方法がよいのかを話し合いの柱として話し合い活動を行う。

話し合いの切実感をより一層高め目的意識を喚起するために、誰のどんな願いが込められているのか、どんな過程で話し合いが行われることになったのかが分かるように教室に掲示を行う。また、議題の確認の場面では、提案理由について提案者が説明を行う。まず、提案者から水を無駄にしていることにはどんなことがあるのか、自分たちの生活の実態について説明を行わせる。次に用務員の先生方に水の使い方について普段気になっていることや、学校で1年間にどれくらいの水を使うのかについてインタビューしたことをビデオで提示させる。提案の後、担任から付け足しとして、学校の水道料金と子どもたちの取り組みについて用務員の先生方にインタビューしている様子もビデオを使って提示する。自分たちの生活の中での改善点や学校の水道料金、取り組みについて期待していることなどを捉えることによって、切実感をもち話し合いに臨むことができるようにしたい。

話し合いの場面では、一人一人が自分の考えをもって話し合いに臨むことができるように、話し合いプリントに自分の考えを書いておく。考えについては事前に把握し、取り組みとして妥当だと考えているものに事前の話し合いを通して絞っておく。話し合いを通して、どんな取り組みを行えばよいのかを子どもたち同士で学び合わせていきたい。話し合いの途中で話の中心がずれたと判断したときには、提案理由を振り返らせ、提案理由に添った話し合いになっているか確認をさせる。また、意見がまとまらないときには、迷っている理由や話し合いの視点を明確にさせ、話し合いの方向を持たせるような助言を行い、一人一人が自分の考えをもつことができるよう個の学びに寄り添った支援を行う。

話し合いを通して結論が導き出された場合には、進んで実践しようとしてよりよい意思決定を行うことができるような資料の提示をする。資料は、水を大切にすることのよさ、それを実践しようとしている姿が大変すばらしいという内容とする。このビデオを通して、子どもたちが話し合ったことやこれから行う実践のよさを感じさせ実践への意欲を高めさせていきたい。また、話し合いの方法や進め方については、4年生の発達段階を考慮して、なるべく自分たちですすめることができるように支援を行う。

話し合いの後には、今日の話合いの振り返りを書かせ、自分の意見の高まりや深まり、友だちのよさや実践への意欲について記述させ、次の時間への取り組み方や考え方を確かなものにした。先生からでは、話し合いに対する意欲と実践への意欲を高めるために話し合いの中での発言のよさと個人の高まりについて評価したい。

なお、学級会の進め方を全員が知ることができるように、議長や書記は輪番制とする。

## 本時の指導

### 1 ねらい

学校の水を大切にするための取り組みについて考え、決めることができる。

水を大切にするための取り組みを行う意欲を高めることができる。

### 2 指導の構想

「実践への意欲を持つことができる子どもが育つ授業の在り方」を目指して次の視点から指導の構想をする。

#### (1) 話し合いの切実感をより一層高めるための提案の工夫

提案された議題がどのような過程を経てきたのかを捉えさせる。

提案理由の説明の後に担任から学校の水道料金はいくらかかっているのか、この取り組みについて期待していることについて用務員にインタビューしたビデオを通して捉えさせる。

#### (2) よりよい意思決定を行うことができるような資料の工夫

話し合いが停滞したり、話し合いの中心がずれたりした場合には、提案理由に添った話し合いになっているのかについて振り返らせる。

水を大切にすることのよさや実践の様子、浄水場の方からのメッセージを、ビデオを使って提示し、自分たちの話し合いで決まったことの価値を捉えさせる。

(3) 個の学びに寄り添うための助言の工夫

- ・ 話し合いの途中で迷った場合には、迷っている理由を明らかにしたり、話し合いの視点について助言を行ったりし、子どもたちの内面を表出させたり、一人一人の考えを再確認させたりする。

3 展開

活動の流れ	子どもの活動	指導上の留意点(研究に関わる視点: 評価: )
1. 始めの言葉 (1分)	議長の合図で話し合いをはじめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合うことが明確にとらえられるように話し合いの柱を書いておく。</li> <li>・ 一人一人の考えについて把握しておき、誰がどの考えなのかについて黒板に名前のマグネットを貼っておく。</li> </ul>
2. 係りの紹介(1分)	議長から係の紹介を始める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いのめあては、「自分の考えをしっかりと持って話し合おう。」である。</li> <li>・ 提案理由の説明の中で話し合いが行われる経緯について説明をさせる。</li> </ul> <p>教師からの補足説明で1年間にかかる水道料金と用務員の先生が今回の取り組みについて期待していることについてビデオで捉えさせ、話し合いへの切実感を高めさせる。</p>
3. 議題の確認 (1分)	議題と話し合いのめあてを確認する。	
4. 提案理由の説明 (8分)	提案者が「学校でもたくさんの水が使われており、大切にしたい。」という内容のことを話す。	
5. 話し合い (25分)	<p>自分の考えやその訳を出し合っていくと思われる。</p> <p>互いの考えの訳を聞きあいながら、集団決定していくと思われる。</p> <p><b>【話し合いの柱】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>学校の水を大切にするには、どんな取り組みを行えばよいだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践活動を見通して話し合いを進めている際には、できるだけ子どもたちに話し合いをさせたい。</li> <li>・ できる限り理由を発表させ、板書に位置付ける。</li> </ul> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えが変わった子どもには、そのわけを話すように促し、考えの深まりを認める。</li> <li>・ 発言意欲が低い子どもにも指名しながら発言を促し、その努力を称揚する。</li> </ul> <p>話し合いが停滞したり、話し合いの中心がずれたりした場合には、提案理由に沿った話し合いになっているのかについて振り返らせる。</p> <p>話し合いの途中で迷った場合には、迷っている理由や、話し合いの視点を明確にさせ、話し合いの視点を明確にさせる助言を行う。</p> <p>評価</p> <p>水を大切にする取り組みについておうちの方や浄水場の方のインタビューを、ビデオを使って提示し、自分たちの話し合いで決まったことの価値を捉えさせる。</p>
6. 決まったことの確認(2分)	ノート書記が発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決まったことを短く話させる。</li> </ul>
7. 先生から (7分)	<p>話し合いカードに振り返りを記入し、発表する。</p> <p>教師の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いや活動に対しての意識の持続化を図るために、次の観点で話し合いカードに話し合いの振り返りを書かせる。</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">自分の意見の高まり 友だちのよいところ 取り組みに向けてがんばりたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助言の中で、考え方のよさや参加の態度などを賞賛し、話合ったことの満足感や実践への期待感を高める。</li> </ul>
8. 終わりの言葉 (1分)	議長の子どもが話す。	